

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	専攻演習							授業形態	演習	
科目コード	270210	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	紺谷 靖英								ICT活 用	
授業概要	食と健康に関する課題について研究を行い、その研究をとおして基本的な生化学・分子生物学・微生物学・衛生学的 実験手法および技術を修得する。研究により得られた実験結果は最終的に卒業論文としてまとめる。									
関連する科目	3年次後期までに履修したすべての科目									
授業の進め方 と方法	適切な論文や文献を参考にしながら、テーマに基づいた研究を実施していく。									
授業計画 【第1回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第2回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第3回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第4回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第5回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第6回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第7回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第8回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第9回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第10回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									

[illegible]

授業計画 【第28回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他 ・細胞培養方法 ・微生物培養方法 ・生体成分分析法
授業計画 【第29回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他 ・細胞培養方法 ・微生物培養方法 ・生体成分分析法
授業計画 【第30回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他 ・細胞培養方法 ・微生物培養方法 ・生体成分分析法
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 卒業研究の過程で基本的な実験の手技、論理的思考のトレーニングや問題解決能力のトレーニングを行う。【職業 知識・技能の育成】 2. ディプロマポリシー中の科学的思考や技術を習得する目標を達成すること。【自己管理・生涯学習力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	研究テーマに関連する文献を選び情報収集に努めること。
授業時間外学習【復習】	研究テーマに関連する文献を選び情報収集に努めること。
課題に対する フィードバック	卒業論文作成に向けてディスカッションしながら研究を継続する。
評価方法・基準	単位を認定するうえで1、2、3年次の卒業論文発表会をすべて出席することを条件とする。 卒業論文に至るまでの取り組み姿勢、結果内容、最終報告状況により総合的に判断する。 論文発表会および提出された卒業論文に基づき評価を行う。 100点
テキスト	指定しない。
参考書	指定しない。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	専攻演習							授業形態	演習	
科目コード	270210	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山崎 楓								ICT活 用	○
授業概要	フードサイエンスに関するテーマを毎回定め、各種文献を参考資料として調査研究を行うとともに、発表資料を作成し、口頭発表を実施する。また、関連するテーマに関する実験を行い、疑問を解決するとともに、レポートを作成・提出する。									
関連する科目	3年時後期までに履修したすべての科目									
授業の進め方 と方法	文献検索サイトなどを活用し、文献調査を行う。 適切な文献を参考にしながら、テーマに基づいた演習（資料作成、発表、実験）を実施していく。									
授業計画 【第1回】	フードサイエンスに関する調査研究（1） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査									
授業計画 【第2回】	フードサイエンスに関する調査研究（2） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査									
授業計画 【第3回】	フードサイエンスに関する調査研究（3） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査									
授業計画 【第4回】	フードサイエンスに関する調査研究（4） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査									
授業計画 【第5回】	フードサイエンスに関するテーマに基づいた実験とレポート作成（1） 調査研究をもとに実験を行う									
授業計画 【第6回】	フードサイエンスに関するテーマに基づいた実験とレポート作成（2） 調査研究をもとに実験を行う									
授業計画 【第7回】	フードサイエンスに関する調査研究（5） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査									
授業計画 【第8回】	フードサイエンスに関する調査研究（6） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査									
授業計画 【第9回】	フードサイエンスに関する調査研究（7） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査									
授業計画 【第10回】	フードサイエンスに関する調査研究（8） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査									

授業計画 【第11回】	フードサイエンスに関するテーマに基づいた実験とレポート作成（３） 調査研究をもとに実験を行う
授業計画 【第12回】	フードサイエンスに関するテーマに基づいた実験とレポート作成（４） 調査研究をもとに実験を行う
授業計画 【第13回】	フードサイエンスに関する調査研究（９） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第14回】	フードサイエンスに関する調査研究（１０） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第15回】	フードサイエンスに関する調査研究（１１） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第16回】	フードサイエンスに関する調査研究（１２） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第17回】	フードサイエンスに関するテーマに基づいた実験とレポート作成（５） 調査研究をもとに実験を行う
授業計画 【第18回】	フードサイエンスに関するテーマに基づいた実験とレポート作成（６） 調査研究をもとに実験を行う
授業計画 【第19回】	フードサイエンスに関する調査研究（１３） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第20回】	フードサイエンスに関する調査研究（１４） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第21回】	フードサイエンスに関する調査研究（１５） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第22回】	フードサイエンスに関する調査研究（１６） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第23回】	フードサイエンスに関するテーマに基づいた実験とレポート作成（７） 調査研究をもとに実験を行う
授業計画 【第24回】	フードサイエンスに関するテーマに基づいた実験とレポート作成（８） 調査研究をもとに実験を行う
授業計画 【第25回】	フードサイエンスに関する調査研究（１７） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第26回】	フードサイエンスに関する調査研究（１８） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第27回】	フードサイエンスに関する調査研究（１９） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査

授業計画 【第28回】	フードサイエンスに関する調査研究（２０） J-STAGEやPubMedなどの文献検索サイトによる調査
授業計画 【第29回】	フードサイエンスに関するテーマに基づいた実験とレポート作成（９） 調査研究をもとに実験を行う
授業計画 【第30回】	フードサイエンスに関するテーマに基づいた実験とレポート作成（１０） 調査研究をもとに実験を行う
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	各種資料や学術論文等を参考にしながら資料を作成し、フードサイエンスに関する知識を得ることを目指すと同時に、口頭発表を実施することにより、プレゼンテーション能力を高めることを目標とする。 また、各テーマに関連する実験を行うことにより、課題解決手法を学び、研究遂行能力を得ることを目的とする。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	テーマに基づく文献を選び、情報収集に努める。(2時間程度)
授業時間外学習【復習】	テーマに基づく文献を選び、情報収集に努める。(2時間程度)
課題に対する フィードバック	適宜ディスカッションしながら研究を継続していく。
評価方法・基準	作成資料、口頭発表、調査・実験への取り組み姿勢および評価方法び提出されたレポートに基づき評価を行う。 単位を認定するうえで1、2、3年次の卒業論文発表会をすべて出席することを条件とする。
テキスト	使用しない。
参考書	使用しない。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	専攻演習						授業形態		講義・演習	
科目コード	270210	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	
担当教員名	岡崎 善三								ICT活 用	
授業概要	本演習の目的は、食品開発の基本となる、農産物、水産物、穀物を題材とする食品素材の加工法の基礎を実習形式でおこれまでに習得した食品全般に関する知識、経験を活かして、興味深い課題に対して指導教員と協議のもとテーマを選択、関連情報を文献検索を行い蒐集し、調査して研究室内の進捗状況報告会にて発表討議し、了解を得た上で更なる文献調査を進める。都度進捗状況を報告しながら最終的に卒業論文として纏め上げ提出する。 研究内容については年度末に実施される卒業研究論文発表会に於いて発表を行い、学科内での承認を得ることで専攻演習論文として認定する。 食品企業（メーカー）での研究所勤務の経験を活かした指導を実施									
関連する科目	1年～4年までに受講した全科目及び、研究課題で調査した文献に関係する科目の全て									
授業の進め方 と方法	四半期毎に計画している課題進捗状況報告会にて進捗状況を発表し、討議しながら演習課題を遂行する。 演習者が主体となり取り組んでいくべきものであり、都度報告会に於いて進捗状況を評価し、内容によってはテーマの見直しも含めて実施していく。									
授業計画 【第1回】	1. 専攻演習課題の設定 2. 課題関連文献検索の調査・収集 3. 課題決定検討会の実施 4. 演習課題・内容の見直しのイテレーション 5. 演習研究の遂行 6. 演習進捗状況検討会の実施									
授業計画 【第2回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。									
授業計画 【第3回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。									
授業計画 【第4回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。									
授業計画 【第5回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。									
授業計画 【第6回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。									
授業計画 【第7回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。									
授業計画 【第8回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。									
授業計画 【第9回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。									
授業計画 【第10回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。									

授業計画 【第11回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第12回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第13回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第14回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第15回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第16回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第17回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第18回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第19回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第20回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第21回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第22回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第23回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第24回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第25回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第26回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第27回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。

授業計画 【第28回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第29回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第30回】	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1 回目の項目について適時、報告会を開催しPDCAを実施する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	研究課題に関係する論文を調査し、精読、理解及び内容を評価すること。
授業時間外学習【復習】	研究課題に関係する論文をまとめ、適宜、論文データの統計解析を評価した上で、報告書としてまとめる。
課題に対する フィードバック	問題解決に努めスキルアップを計るために、報告会にてその都度結果に対する考察を共有化する。
評価方法・基準	報告書に至るまでの取り組み姿勢、結果内容、最終報告状況により総合的に判断する。
テキスト	関連文献全て
参考書	関連文献全て
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科			
科目名称	専攻演習						授業形態		演習		
科目コード	270210	単位数	4単位		配当学年		実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	長田 隆									ICT活 用	
授業概要	食品安全に関するテーマを定め、各種文献を参考資料として調査研究を行う。定期的に研究状況を発表資料にまとめ、口頭発表を実施する。また、関連するテーマに関する実験を行い、疑問を解決するとともに、レポートを作成・提出する										
関連する科目	3年次後期までに履修した全ての科目										
授業の進め方 と方法	指導教官との話し合いで、研究テーマを決定し、適切な文献を参考にしながら、テーマに基づいた研究を実施する。また、研究は2ヶ月程度の計画案を作成し、計画的に実施する。										
授業計画 【第1回】	ガイダンス										
授業計画 【第2回】	専攻演習課題の設定の方向性										
授業計画 【第3回】	専攻課題関連文献検索の調査・収集①										
授業計画 【第4回】	専攻課題関連文献検索の調査・収集②										
授業計画 【第5回】	専攻演習の課題決定検討会の実施										
授業計画 【第6回】	専攻演習実施										
授業計画 【第7回】	専攻演習実施										
授業計画 【第8回】	専攻演習実施										
授業計画 【第9回】	専攻演習実施										
授業計画 【第10回】	専攻演習実施										

授業計画 【第11回】	専攻演習実施
授業計画 【第12回】	専攻演習実施
授業計画 【第13回】	専攻演習の進捗状況検討会の実施
授業計画 【第14回】	専攻演習の進捗状況検討会の実施
授業計画 【第15回】	専攻演習成果のまとめ
授業計画 【第16回】	卒業論文・専攻演習発表会での発表
授業計画 【第17回】	専攻演習の提出
授業計画 【第18回】	
授業計画 【第19回】	
授業計画 【第20回】	
授業計画 【第21回】	
授業計画 【第22回】	
授業計画 【第23回】	
授業計画 【第24回】	
授業計画 【第25回】	
授業計画 【第26回】	
授業計画 【第27回】	

授業計画 【第28回】	
授業計画 【第29回】	
授業計画 【第30回】	
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 取り組み課題の設定から実験計画を策定し、PDCAに基づいて研究を遂行する能力を習得する。 2. 実験から得られたデータを分析するための、適切なグラフの作成、統計解析技法等を習得する。 3. 研究室内のメンバーと協力しながら研究を遂行し、ディスカッションおよび論文作成を行う。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	関連文献の調査。講義時間内でまとめきれなかった実験ノートの整理。
授業時間外学習【復習】	関連文献の調査。講義時間内でまとめきれなかった実験ノートの整理。
課題に対する フィードバック	報告会で評価し合うことで問題解決を自ら実施する。
評価方法・基準	研究室活動における活動時間数、および、発表会におけるプレゼンテーションの完成度、専攻演習論文の完成度を総合的に評価する。
テキスト	随時、論文等指示する。
参考書	随時、論文等指示する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	専攻演習						授業形態		演習	
科目コード	270210	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	矢野原 泰士								ICT活 用	
授業概要	食と健康に関する課題について研究を行い、その研究をとおして基本的な生化学・分子生物学・微生物学・衛生学的 実験手法および技術を修得する。研究により得られた実験結果は最終的に卒業論文としてまとめる。									
関連する科目	3年次後期までに履修したすべての科目									
授業の進め方 と方法	適切な論文や文献を参考にしながら、テーマに基づいた研究を実施していく。									
授業計画 【第1回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第2回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第3回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第4回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第5回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第6回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第7回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第8回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第9回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									
授業計画 【第10回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他・細胞培養方法・微生物培養方法・生体成分分析法									

[illegible]

授業計画 【第28回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他 ・細胞培養方法 ・微生物培養方法 ・生体成分分析法
授業計画 【第29回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他 ・細胞培養方法 ・微生物培養方法 ・生体成分分析法
授業計画 【第30回】	文献検索法 日本語論文、英語論文の読み方 論文の書き方 プレゼンテーションの方法 文献調査と討論 上記の他 ・細胞培養方法 ・微生物培養方法 ・生体成分分析法
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 卒業研究の過程で基本的な実験の手技、論理的思考のトレーニングや問題解決能力のトレーニングを行う。【職業 知識・技能の育成】 2. ディプロマポリシー中の科学的思考や技術を習得する目標を達成すること。【自己管理・生涯学習力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	研究テーマに関連する文献を選び情報収集に努めること。
授業時間外学習【復習】	研究テーマに関連する文献を選び情報収集に努めること。
課題に対する フィードバック	卒業論文作成に向けてディスカッションしながら研究を継続する。
評価方法・基準	単位を認定するうえで1、2、3年次の卒業論文発表会をすべて出席することを条件とする。 卒業論文に至るまでの取り組み姿勢、結果内容、最終報告状況により総合的に判断する。 論文発表会および提出された卒業論文に基づき評価を行う。 100点
テキスト	指定しない。
参考書	指定しない。
備考	毎年2月に開催される食品開発科学科卒業論文発表会へ必ず出席すること。

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科			
科目名称	専攻演習							授業形態			
科目コード	270210	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	永田 さやか									ICT活 用	
授業概要	3年生までに学んできた事を基に、食品がもつ様々な機能について学習し、その中から自分でテーマを選択する。選択したテーマに沿って自分達で調べて最終的にレポートしてまとめるまでを習熟する。										
関連する科目	特に「食品機能学」や「食品分析学」、また、「食品基礎実験」や「食品学実験」といった実験授業など。										
授業の進め方 と方法	食品がもつ様々な機能についてテーマを選択して学習し、そのテーマに沿って調べていく。また、調べた事についてレポートしてまとめる。										
授業計画 【第1回】	食品の機能性について 1 機能性食品の種類について学ぶ。										
授業計画 【第2回】	食品の機能性について 1 機能性食品の種類について学ぶ。										
授業計画 【第3回】	食品の機能性について 2 機能性食品の作用機序について学ぶ。										
授業計画 【第4回】	食品の機能性について 2 機能性食品の作用機序について学ぶ。										
授業計画 【第5回】	専攻演習テーマの選択 興味のある機能性食品を選択する。										
授業計画 【第6回】	専攻演習テーマの選択 興味のある機能性食品を選択する。										
授業計画 【第7回】	専攻演習テーマの決定 具体的なテーマについて決定する。										
授業計画 【第8回】	専攻演習テーマの決定 具体的なテーマについて決定する。										
授業計画 【第9回】	論文などの検索ツールと文献管理ソフトの使い方 Pub Med・End Noteの使い方を学ぶ。										
授業計画 【第10回】	論文などの検索ツールと文献管理ソフトの使い方 Pub Med・End Noteの使い方を学ぶ。										

授業計画 【第11回】	テーマに沿った課題演習 1 各テーマに沿って文献などの資料を集める。
授業計画 【第12回】	テーマに沿った課題演習 1 各テーマに沿って文献などの資料を集める。
授業計画 【第13回】	テーマに沿った課題演習 1 各テーマに沿って文献などの資料を集める。
授業計画 【第14回】	テーマに沿った課題演習 1 各テーマに沿って文献などの資料を集める。
授業計画 【第15回】	テーマに沿った課題演習 2 参考資料をまとめて考察する。
授業計画 【第16回】	テーマに沿った課題演習 2 参考資料をまとめて考察する。
授業計画 【第17回】	テーマに沿った課題演習 2 参考資料をまとめて考察する。
授業計画 【第18回】	テーマに沿った課題演習 2 参考資料をまとめて考察する。
授業計画 【第19回】	課題レポートのまとめ方 1 レポートの書き方を学ぶ。
授業計画 【第20回】	課題レポートのまとめ方 1 レポートの書き方を学ぶ。
授業計画 【第21回】	課題レポートのまとめ方 2 統計解析法について学ぶ。
授業計画 【第22回】	課題レポートのまとめ方 2 統計解析法について学ぶ。
授業計画 【第23回】	プレゼン資料の作り方 パワーポイントや生成AIの使い方を学ぶ。
授業計画 【第24回】	プレゼン資料の作成 発表会に向けてパワーポイントでプレゼン資料を作成する。
授業計画 【第25回】	プレゼン資料の作成 発表会に向けてパワーポイントでプレゼン資料を作成する。
授業計画 【第26回】	プレゼン資料の作成 発表会に向けてパワーポイントでプレゼン資料を作成する。
授業計画 【第27回】	発表会 それぞれまとめたテーマについての発表を行う。

授業計画 【第28回】	発表会 それぞれまとめたテーマについての発表を行う。
授業計画 【第29回】	討論会 発表会で発表したテーマについてお互いに討論する。
授業計画 【第30回】	討論会 発表会で発表したテーマについてお互いに討論する。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	自分で問題点やテーマを探すことができるようになる。また、そのテーマに沿ってまとめてレポートと資料を作成し、人前でプレゼンできるようになる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	テーマに沿ってあらかじめ調べておくこと。(1時間程度)
授業時間外学習【復習】	演習の後にノートや配布資料を熟読しておくこと。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	レポートは採点し、発表会のプレゼンは、その場で解説、改善点について話し合う。また最終授業の際に討論の場を設けて質問などについての解説を行う。
評価方法・基準	レポート作成と発表などを総合的に評価する。
テキスト	プリントを配る。
参考書	「わかりやすい食品機能学（第2版）2022年3月」 三共出版 森田英利・田辺創市 編著 など
備考	